

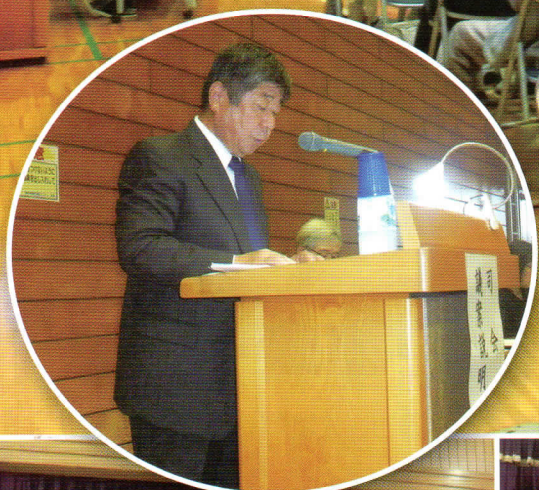
シルバーくだまつ

星のさと

No.57

平成28年6月20日

編集発行／公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町2丁目16-8 TEL (0833) 44-2600 印刷／睦美マイクロ株式会社



平成28年度定時総会

平成28年度 定時総会

平成28年度下松市シルバー人材センター定時総会が5月31日（火）10時から下松市勤労者総合福祉センターにおいて、下松市長ほか多数のご来賓をお迎えし、会員451人（含む委任状）出席のもと盛大に開催されました。

宮川理事の総合司会により、土田理事の開会宣言・市民憲章唱和、官田理事長の挨拶に続き、ご来賓の中から下松市長・山口県周南県民局長・下松市議会議長の3名の方に代表してご祝辞をいただきました。

議長には石田幸宣氏が選出され、村岡事務局長が平成27年度事業報告・収支決算報告・理事の選任・監事の選任についての4議案を提案し、原案どおり承認決議されました。

また、議事に先立ち理事長より事業発展に貢献された永年在籍会員65人（20年在籍7人、15年在籍23人、10年在籍35人）に対して、表彰状並びに記念品が授与されました。

本日、平成28年度下松市シルバー人材センターの定時総会に、会員の皆様には、多数、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、國井下松市長をはじめ、ご来賓の皆様方には、ご多忙のところをご臨席賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、このところの景気の動向は、弱さも見られるものの、緩やかな回復基調

ごあいさつ



理事長

官田 敏彦

が続いているとのことではありますが、当センターの平成27年度の事業実績をみてみますと、企業や一般家庭からの受注契約金額の減少、また会員につきましても、65歳までの継続雇用や年金支給開始年齢の段階的引き上げ等によりまして、入会会員の減少、高齢化等、当センターを取り巻く状況は、依然として厳しい状況にあります。

また、昨今の円高や株価の下落等、国内の経済は、先行き不透明な状況にありますが、少子高齢化が、ますます進展する中で、地域社会の活性化、高齢者の健康増進、生きがい対策としてのシルバー人材センターの役割は、ますます重要となっております。

今後も、センターの効率的な運営、安全・適正就業の徹底に努めますとともに、

引続き基盤拡大事業や高齢者活用・現役世代サポート事業の活用による会員の確保、拡大、就業機会の拡大、派遣事業の推進に努めて参りたいと思っておりますので、どうか関係各位の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます、ご挨拶といたします。



平成27年度 事業実績

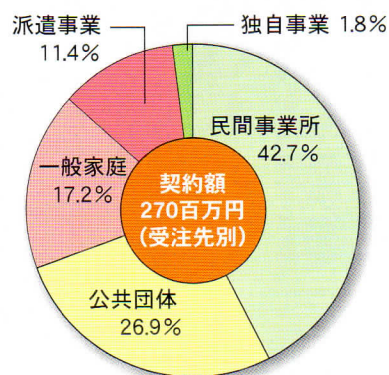
我が国の経済情勢は、政府の緊急経済対策等によって、雇用・所得環境が改善されるなど緩やかではあるが回復基調にあるとされているものの、地方においては依然として厳しい経済環境にあります。

こうした中、当センターの平成27年度の事業実績（一般労働者派遣事業も含む）は、前年度に比べて受注件数が120件の減、受注契約金額は約2,208万円の減となりました。収支決算においては、平成26年度が収益増であったため、本年度で収支相償を図り約23万円の減となりました。

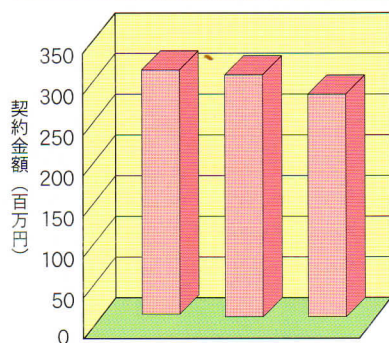
就業率は、前年度に比べて、0.3ポイントの減となりました。

また、会員・役職員が丸一となつて、地域社会の信頼と期待に応えながら、シルバー事業の推進に努めてまいりました。

受注先別契約金額の割合



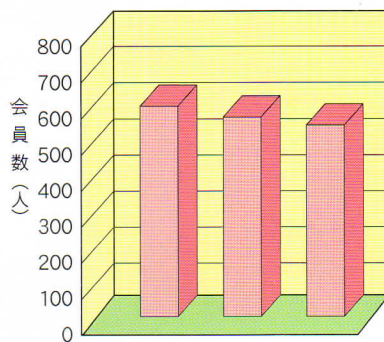
受注契約金額の推移 (一般労働者派遣事業も含む)



	平成25年度	平成26年度	平成27年度
契約金額	307	291	270

(単位：百万円)

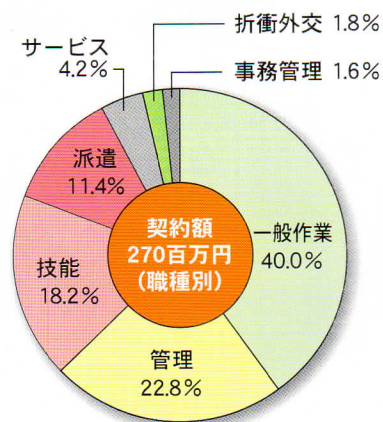
年度末会員数の推移



	平成25年度	平成26年度	平成27年度
会員数	598	558	541

(単位：人)

職種別契約金額の割合



受賞者名簿 (敬称略)

【理事長表彰】

20年在籍会員 (7人)

隅田 幸江 吉田 妙子 岩根喜久代 佐々木菊乃 本戸 重幸 山本 政子 三好 安子

15年在籍会員 (23人)

手嶋 基洋 清水 照雄 山本 秀治 吉原 洋豪 田中 昌子 塩田 純江 中山 卓夫
 広実 静江 河村 欣江 中山 哲見 高松 武義 河内 克之 藤嶋 正子 松本 光代
 清水 政美 河村 勝子 長野 操 重田 弘二 兼森 照男 藤本 佳孝 高田 純子
 波多野 智 井上カツエ

10年在籍会員 (35人)

土田 芳大 伊藤 和雄 三津田恵美子 烏田ヨリ子 狩俣 静子 清水 進 飯田紀久江
 藤田 隆 財満 勇 兼重 繁雄 武居 清 浜本 文子 林 利治 田中 靖幸
 清水 康虎 西田 節夫 中村恵美子 山本 武 上蘭エチ子 中谷 裕治 渡辺敬二郎
 山本 泰武 金山 明生 福井 節子 中村 直子 渡辺 尚美 川合 康弘 鴨居 幹夫
 山岡 五男 弘中 幸恵 宮川 照之 松本 孝史 小原 康 長濱 洋 植永 攻

地区懇談会の開催について

下松市シルバー人材センターでは、地域班を会員の住所を基準にして組織しています。

私たち会員は、地域班の設置目的や活動の意義を理解しておく必要があります。

地域班の設置目的は、

- ① センター事業の普及啓発
 - ② 就業開拓の促進
 - ③ センター就業の推進
 - ④ センター・会員間のコミュニケーション
 - ⑤ 会員相互の親睦交流
- と考えられています。

私たち会員は働くことも大切ですが、センター事業の発展のため、積極的に地域班の活動に参加し、新たにセンターに入会してくる高齢者のため、また自身の生きがいづくりのために、高齢者の社会的自立と連帯を実現する事が重要です。

センターでは、地域班が設置目的に沿った形で活動し機能していくために、毎年地域別に地区懇談会を開催してきました。

今年度も、これからのシルバー業務の更なる発展につながるように、地域班長と担当理事が連携して地区懇談会を開催することになりました。

今後、懇談会の開催が決定した地域班の会員の皆さまには、改めてご案内を差し上げますので、積極的にご参加をお願いします。

新役員の紹介

定時総会で、次の方が役員に就任されました。
(順不同・敬称略)

役職名	氏名	分担業務等
理事	官田敏彦	理事長(安全委員長)
理事	村岡博徳	常務理事
理事	清水信男	事務局長
理事	土田芳大	市経済部長
理事	宮川照之	(総務・安全)
理事	栗岡宗弘	(総務委員長・広報)
理事	松永静子	(総務・広報)
理事	岡田米蔵	(広報・就業)
理事	玉木章嘉	(就業開拓委員長・総務)
理事	波多野悦子	(就業・安全)
理事	吉山俊則	(広報委員長・就業)
理事	岡本誠治	(広報・就業)
理事	内山絃一	(広報・安全)
理事(新任)	松浦仁志	(総務・広報)
監事	神田佳郎	会員
監事	藤本泰延	市総務部長

健診・がん検診を うけましょう



下松市健康増進課
保健師

中村 麻紀

みなさんは、毎年、健診やがん検診を受けていますか？

ここでクイズです。□に数字を入れてください。

■日本人の死亡原因のうち、生活習慣病が□割りを占めている。

■なかでも「がん」は死亡原因の第□位ですが、□人に1人ががんになり、□人に1人ががんで命を落としている。

■がんの場合、早期の段階で発見し、治療を受ければ□割りの人が完治すると言われる。

知っている数字はありましたか？

答えは、順番に「6」「1」「2」「3」

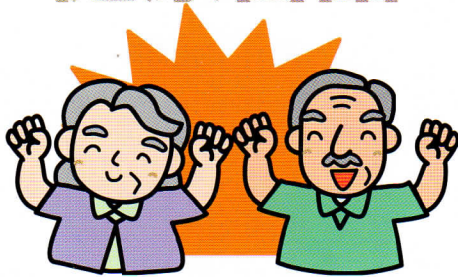
「9」が入ります。

生活習慣病とは、脳卒中・心臓病・がん・糖尿病・高血圧などの病気のことで、食事や

運動、休養の取り方、喫煙などの生活習慣が病気の発症や進行に深く関わっています。自分の生活が病気に関係する、実は、とても身近な病気です。これらの病気は、自覚症状がないまま進行するため、健診（検診）を受診することが、病気の予防や早期発見、早期治療につながります。

「早期発見」とは、症状が出てからすぐに検査を受けることではなく、何も症状のないうちから定期的に検査を受け、病気を発見することです。また、早く治療することとで、入院費や治療費等の費用が少なくなります。

健康百話



これから仕事や趣味など、楽しく過ごす。また、早く治療することとで、入院費や治療費等の費用が少なくなります。

ごしていきたい方こそ、定期的に健診（検診）を受け、自分が元気であることを確認していきましよう。そして、大切な仲間、家族にも健診を勧めてください。

何をするにしても、

まずは「健康」が一番大切！

下松市では、5月から2月末まで市内委託医療機関等で国保特定健診とがん検診を実施しています。詳しくは、5月初旬頃にお送りしている緑色の封筒で届く「ケンシンガイド」をご覧ください。その他、ご不明なことがありましたら、健康増進課までお気軽にお問い合わせください。

がん検診

◆胃がん検診（40歳以上）

◆肺がん検診（40歳以上）

◆大腸がん検診（40歳以上）

◆子宮がん検診（20歳以上女性 2年に1回）

◆乳がん検診（40歳以上女性 2年に1回）

◆前立腺がん検診（50歳以上 男性）

特定健診・高齢者の健康診断

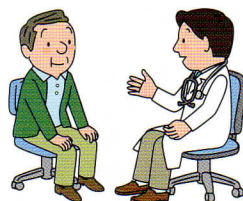
■特定健診（40歳～74歳）は加入されている医療

保険者から検診案内が届きますのでご確認ください。（国保の方には、がん検診案内と一緒に受診券をお送りしています。）

高齢者の健康診査（75歳以上）は、5月中旬頃、青い封筒で受診券が届いていると思いますのでご確認ください。

問い合わせ先 下松市健康増進課

電話 41-1234



会員のひろば

(敬称略)



末武7班
田中 都
(家事援助班)

私は働き蜂……？ (自称)

長年勤めていた会社を、体調不良で早期退職いたしました。その後、何をするでもなく日々が過ぎて行きました。ふと若さを失う自分に気づき、何かしなくては！そう思っていた時シルバー人材センターのことが頭を過ぎりました。

自分にできる事があるのか、年齢のことは大丈夫なのかと不安を抱えながら電話し入会しました。

就業としては、介護施設で館内の掃除・食事の配膳・話し相

手・花の世話等です。

体を動かして、楽しく2時間を過ごしています。皆様から感謝の言葉を頂き心を癒される日々です。



花岡2班
明尾 義彦
(筆耕班・正月輪飾り班)

入会後は筆耕を軸に就業。

受注量も多く、仲間と共に熱心に研修、技能向上に努めたものだ。

しかし、パソコンの登場で、受注量は漸減。でも研修は続いている。

数年後、正月輪飾り班が産声を上げ、誘われて入会。

米川の伊藤師匠の下、数名のメンバーが懸命に技能習得し、班の礎を固めた。

時は移り、しめ縄・門松へと門戸を拡げ、今日、自主事業の中核となり得たのはご同慶の至りである。

問題は両班とも、メンバーの若返りで、意欲のある人を求めている。

元氣な高齢者が輝かなければ明るい未来はありません。

20年余、身心共に刺激を与え、激励してくれたシルバー人材センター有難う!!



久保3班
福原 秀俱
(パソコン同好会)

情報化社会に取り残された高齢者に、お勧めしたいのが、パソコンです。

私は、高齢者に最も適した娯楽機器が、パソコンだと思っています。

最初の取っ付きさえ克服すれば、すぐに楽しくなります。

ワープロはもちろん、写真編集・ビデオ編集・インターネット等、少しの出費で楽しく遊ぶことが出来、多くの情報を得ることが出来ます。

スピーカーを接続すれば、素晴らしい音響機器となり、大画面に表示して、動画や静止画を楽しむことも出来ます。

この機器を利用して、自分流

の楽しいシステムを作り、同好者と共に楽しみ、老人ボケを防ぎ、生きがいを見つける事が出来ます。



末武4班
小田 恭子
(家事援助班)

シルバー人材センターの会員になつて8年になります。

会社の研修室の掃除・高齢者宅の掃除・会社の寮の夕食作りなど、さまざまな仕事をさせていただきました。

最初は知り合いの方もありませんでしたが、いろいろな行事に参加して、多くの人も顔馴染みになり、自分の周りの輪が広がっていく事が、喜びとなっております。

今は仕事の他に、太極拳・オカリナ・体操教室など元気に楽しく、動けることに感謝の毎日です。些細な仕事でも人のお役に立て、喜んでいただけることは、自分自身が前向きに生きて行く源になっています。

平成27年度 会員研修会及び親睦会

去る1月30日(土)、駅前交流センター「きらぼし館」で「27年度会員研修会及び親睦会」が開催されました。

相本下松市生活安全課長を講師に、テーマは「高齢者を対象とした嘘電話(マイナンバー等)」のお話をいただきました。

わたしたちの生活に直接影響があり、事例を挙げられながら、わかりやすく説明され、会場にいた73人のみなさんが真剣に聴き入っていました。

親睦会では、ため息連続のマジックショー。

そして、おいしいご馳走にアルコールも入り、会場の雰囲気最高潮に達したところへ、みなさん自慢のカラオケ、演芸発



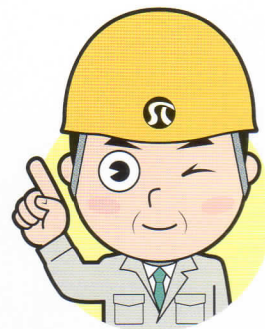
表などもあり、館内は笑いと拍手で渦巻き、たいへん賑やかな親睦会となりました。

井川前市長さんも来席され、これまたご自慢の、のどを披露されました。

最後に、「お楽しみ抽選会」がありました。それぞれ番号札をしつかりと握りしめ、当選番号が発表されるごとに歓声が上がり、ガッツポーズしながら賞品をとり、ステージへ。なんともみなさん幸せな表情でした。当たった人、空くじだった人、悲喜ごもごものひと時でした。

今年も開催!

平成28年度
安全・適正就業
推進大会



▼日時 7月2日(土)
10時~12時

▼場所 スターピアカだまつ
二階 展示ホール

▼内容

○講演

「作業時における救急対応」

講師

下松市消防署職員

○体験発表

パネルディスカッション等

今年は、新企画でみなさんの日々の就業にほんとうにタメになると思います。

多くの方のご参加をお待ちしています。

表紙によせて

平成28年度定時総会が、国井新市長始め、来賓の方々をお迎えし、盛大に開催されました。

官田理事長より、3名の方が代表で永年在籍表彰され、平成27年度事業報告を含む全議案が承認され、平成28年度の事業計画等が報告されました。

編集後記

皆様のご協力により、平成28年度の定時総会も無事終了する事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

『星のさと』は、読み易く、親しみ易い広報誌をめざし頑張っておりますが、更なる充実を図るとともに、『下松市シルバー人材センターのホームページ』を通じて、会員の皆様と市民の皆様にタイムリーな情報発信をして行きたいと考えております。

夏に向かい、今後益々暑い日が予想されますが、会員の皆様におかれましては、なお一層の健康管理に努めて頂きたいと思っております。

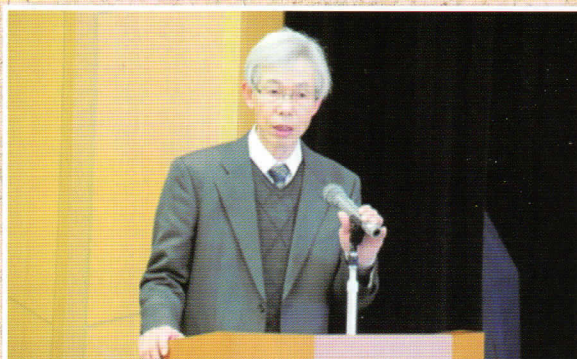
広報委員一同



カメラルポ

1/30
(土)

会員研修会 &
親睦会



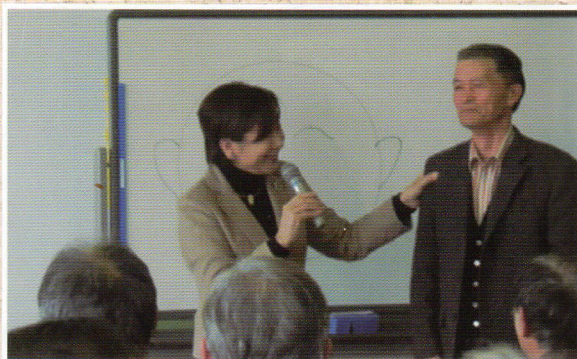
▲宮川総務委員長の開会宣言で研修会がスタート



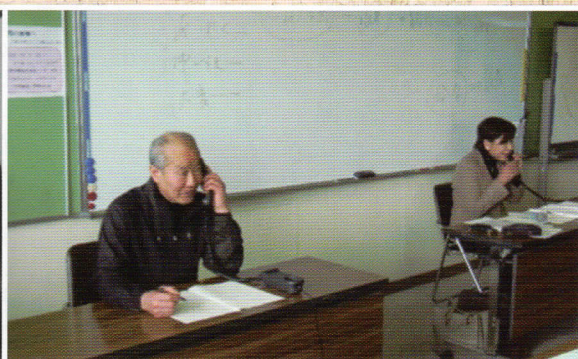
▲皆さんの真剣な受講風景

2/25
(木)

会員接遇研修会



▲本年初めて開催された接遇研修会



▲電話での接遇研修で勉強になりました

3/10
(木)

共同作業



▲今年も、未就業者を対象に開催されました



▲多くの方の参加で、綺麗になりました

3/29
(火)

第六回地区懇談会
(未武3〜7班)



▲意見・要望に対し、事務局からの説明



▲出席者の自己紹介から意見交換されました